昭和51年11月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 4111番㊞・〒754—12

印刷　阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

No.300

町の住民登録人口
（51年10月31日現在）前月比
世帯　2,130世帯　+9
人口　8,234人　+25
（男3,884人　女4,350人）
（国勢調査　昭和50年10月1日
世帯　2,113世帯
人口　8,137人
男3,771人　女4,366人

財産も人命も大切に　火災から守ろう

ヘリから消火剤散布
成果あげた林野火災訓練

季節風が吹き、空気が乾燥し、火災が発生しやすいシーズンがやってきました。本町では十月に『民家二戸が全焼』という火災も発生しました。住宅が全焼というのは本町ではめずらしいことです。山形県酒田市では十月初旬に一夜にして千百余棟を焼失するなど、火魔のあばれる時期の到来です。

本町でも、いつ、こうした大火が起るかわかりません。火災予防にはいつも心しておきたいものです。

火災シーズンを前に、十月二十　ました。

二百阿知須千拓では空と陸からの大がかりな林野火災訓練が行われ　知須町防災会議が主催したもので

小学生が見守る中でヘリコプターから消火活動

この訓練は山口県防災会議と阿

季節風を通して自衛隊の災害派遣を要請、県もこれを受け災害対策本部を設けて消火活動にあたる、という想定。

実際に雑草、古材を燃やし、二機の中型ヘリコプター（自衛隊中部方面航空隊・大阪府八尾市から飛来）が高度三十㍍から消火剤を散布したり、負傷者の空輸やパトカーによる避難広報、ジェットシューター、消防車による一斉放水などがあり、訓練は上々の成績でした。

この日は、県下の消防関係者や町内住民、小学、幼稚園児ら約五百人も熱心に見学、午後一時三十分全日程を終了しました。

訓練を見学した消防関係者は、『これが訓練だから気楽に見えるが、もし、本当の火事だったらどれだけ延焼するかわからない。人命も財産も失うことになるかもしれない。みんなが気をつけたいこと』と語っていました。

本町の消防団員をはじめ山口、宇部、小郡の消防団員、県警本部、山口営林署、陸上自衛隊など千団体、二百三十人余が参加。これに消防車十五台、自衛隊ヘリコプター四機、ジェットシューター、携帯用簡易放水機）三十台など加わりました。

新教育長に工藤靖夫氏
中尾教育長は教育委員長に

町の新しい教育長に工藤靖夫氏（五七）＝小古郷西・写真＝が、教育委員（中尾）同職務代理者（佐藤）委員（田中、粟野）に構成されきまり十八日付で県教委から発令され、本町の教育行政の責任者としてスタートしました。

前教育長・中尾正一氏（七九）＝浜裏＝の辞任に伴うもので、中尾前教育長は今後、教育委員長（非常勤）で教育行政に当ることになりました。

本町の教育委員は工藤靖夫、中尾正一、佐藤勲、田中八重子、粟野憲章の五氏。これが、教育長（工藤）教育委員に本町教育長に就任、今日まで約

工藤・新教育長は町議に三回当選。議長を経て三十六年七月から助役を町収入役、四十年七月から助役を十八年間（途中、約四年半中断）本町の教育行政に携わり、その功績は高く評価されています。

ごあいさつ　工藤靖夫

去る九月の町議会で教育委員選任のご同意をいただきましたが、このたび、はからずも中尾教育長さんの後をうけつぐことになりました。もとより、軽薄な私でございますが、課せられた使命に向って決意を新たにして精進し、その責を果したいと念じています。

なにとぞ皆さま方のご指導とご叱責を賜わりますようお願い申し上げます。

なお、助役在任中にさせられました皆さま方のご芳情に対しまして衷心からお礼を申し上げます。

みんなで「宣言」を確認
―交通事故の絶滅めざし―

交通事故の絶滅をめざして十月十六日、本町で『交通安全非常事態宣言大会』が開かれ、参加者全員が事故防止を誓い合いました。

これは、ことし、本町内で四人も交通事故による死者が出たためこうした事故をくり返さないため町交通安全対策協議会と町が主催したもので、大会には町内各団体から約百五十人が参加しました。そして次のような宣言決議をしました。

宣言決議（要旨）

（略）町民の犠牲者は今年すでに四名に達し（略）まことに遺憾の極みであり、われわれはこの現実に眼を開き、町民こぞって安全な街づくりのために、それぞれの分野で交通安全思想の普及徹底を図るとともに、あらゆる施策を講じて交通事故の抑止につとめ安全運転を実行する。

一　私たちは道路の右端を歩き、五　私たちは交通のルールを守り安全運転を励行します。

二　私たちは横断や踏切は左右の安全を確かめて渡ります。

三　私たちは「ゆとり」や「一件、うち人身事故は二十六件。死こども」の通行を守り指導亡者四人そのうち三人が青年。します。重傷は三八、軽傷二十八、物損

四　私たちは道路を美しく正し三十件です。く使います。

"ゆっくり走ろう"を合言葉に

最近の交通事故を分析すると、ほとんどがスピードの出しすぎによる事故だといわれています。県統一スローガンにしている・ゆっくり走ろう・の趣旨をよくわきまえて運転していたら避けられることも多いわけです。

・ゆっくり走ろう・というのは何も"のろのろ運転"をしようというのではありません。常に、自分のおかれた交通環境のなかで、お互いの安全が確保できる速度と方法で自動車を運転しようとするものです。

具体的には、刻々と変化する交通環境のなかで、いつなんどき、起るかもしれない危険な状態に対応できる心と行動の準備を整えつつ、運転することをいいます。

心に"ゆとり"を持って、ゆっくり走ろうと合言葉にして、いつも他人を守ろうとする思いやりをもって運転することが、人の生命わが身を守ることにもなるのです

お知らせ

二百号以降が十二人も
広報紙保存コンクール

先月号で、町広報紙二百号発刊を記念して広報紙保存コンクールを行いましたところ、多数の方々からご応募がありました。

このうち二百号以後、全部保存されているといって十月二十日までに持参された人は、岩崎清さん（鯛北）正司金蔵さん（浜）藤野佐々子さん（砂二）岸与四郎さん（西条）松尾ミサヲさん（小南）岡田歳一さん（鯛北）平海アサノさん（小西）下野海治さん（砂三）網田幸子さん（砂三）西村壮太さん（浜西）宮野光子さん（恵比須）西村チヤエさん（砂三）の十二人でした。

また、四十三年に行った二百号発刊保存コンクール前からひき続き保存された人は、岩崎清さん（鯛北）正司金蔵さん（浜）藤野佐々子さん（砂二）岸与四郎さん（西条）松尾ミサヲさん（小南）岡田歳一さん（鯛北）平海アサノさん（小西）下野海治さん（砂三）網田幸子さん（砂三）西村壮太さん（浜西）宮野光子さん（恵比須）西村チヤエさん（砂三）の十二人でした。

また、四十三年に行った二百号発刊保存コンクール前からひき続き保存されている方が前記のうち七名おられました。

広報紙保存を感謝するとともに今後とも愛読いただくようお願い申し上げます。

税についての相談
十一日から一週間

税務署では十一月十一日から一週間を、みんなで税について理解を深めてもらおうと"税を知る週間"と定めています。

税金を納める人も、直接には税を納めない人も、税について考え合おうというのです。

この週間では、簡税のための税知識の普及や、相談体制をより充実させて税の相談にあたるなど、いろいろな行事が行われます。

山口税務署においては、つぎのような行事を行います。

▽国税よろず相談所＝十一月十四日、午前十時から午後四時まで。ところ　ちまきや

▽税務署では、この期間中全員が相談官となって、みなさんの相談にのります。

無料です。多数の来署を望んでいます。

婦人の学習相談
学習のすすめ方など

野の専門家が、直接あなたの相談相手となって、問題解決のお手つだいをいたします。お気軽にご利用ください。

期間　来年二月末まで

対象　県内在住の婦人

方法　疑問や相談したいことを、あなたの住所、氏名、電話番号を記入したハガキか封書に具体的に明記して送るか電話または直接申込んでください。

手紙か電話で回答がされます。

申込　山口湯田温泉五丁目、山口県婦人会館内「くらしの学習相談室」電話〇八三九二一二四七

開発途上国の指導者
青年海外協力隊員を募る

青年海外協力隊事務局では昭和五十二年度の隊員をつぎの要領で募集しています。

資格：満二十歳以上、原則として三十五歳までの青年男女

締切：十一月三十日まで

選考試験：筆記（論文、英語、技術）、二次試験で面接

派遣期間：二年間

応募方法：東京都渋谷区広尾四―二十二四・青年海外協力隊事務局へご請求ください。

○協力隊はアジア・アフリカ・中近東・中米など開発途上にある国々に対し、経済・社会の発展のために技術・技能を身につけた、必身ともに健全な日本の青年を派遣する国際協力事業です。

○一般寄付▽五千円＝機中正雄さん（西条）は八十歳記念として▽三千円＝阿知須郷調楽部（平岩守・代表）

◇善意はここに

（社会福祉協議会へ）

◇香典返▽五万円＝兼重郁之さん（寺河内）は母キヌさんの▽三万円＝中山千代子さん（前山）は二男俊英さんの▽二万円＝横川和美さん（築地）は義姉松村シズカさんの、長久徳さん（前山）は長男靖さんの。

ぼくの学校　わたしの学校

11月のメモ

6日　PTA球技大会（友愛セール）
7日　宇部時報駅伝参加（荒磐）
8日　青佐学校訪問、給食後下校
10日　給食後下校
11日　男子体重測定
12日　女子体重測定
13日　校内音楽会午後校庭開放
14日　午後校庭開放
15日　貯金日
16日　郡中学ロードレース
20日　郡音楽会（大海小）四、六年参加、午後校庭開放
21日　午後校庭開放
21日　町スポーツ少年団見学
9日　育児相談（後1時半）
10日　幼児学級（後1時半）
11日　妊婦学級（後1時半）
選挙管理委員会（前9時）
14日　郡社会教育振興大会（前9時半・阿小）当日「没落の歴史より」と題して五十部修造先生の記念講演。
15日　心配ごと相談（前10時）
16日　幼児相談（後1時半）
17日　ポリオ生ワク投与（後1時半・生後3か月以上18か月）
18日　妊婦学級（1時半）
19日　婦人学級（後1時半）
〃　先股脱検診（後1時）
〔会場の記入のないのは役場〕

11月の納税
・国民健康保険税　・軽自動車税（随時）

（とじておくと便利です）

学びましょう

学びました

十月二十七日役場で開かれた幼児学級では「よいほめ方と叱り方」について井関小学校の平豊重校長の話がありました。

平校長は最近の教育界の動向は「知・情・意・体の調和のとれた人間づくりを求めている」と前置きして若いおかあさんたちに次のように話しました。

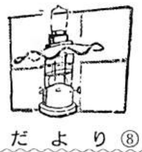
○ー家庭での教育はどうあればよいか、それは、まず、わが子をよく知ること。それも外側からだけでなく、内からも知ること。また、家庭での教育はどうあるべきか、その役割りを知る必要もある。学校は学習の場であり、集団教育をするところである。これに対して、家庭は人生を学ぶ場、個人を磨きあげる場である。社会人としての基本的行動様式のしつけをするところであり、憩いの場でもある。学校と家庭の教育が両立できるようにすることが大切である。

○ーじょうずな叱り方は①すぐその場で叱る②自分のしたことがなぜ悪いのか、理解させる③一つのことを二度以上叱らない④家庭でしつけるべきことを外にも持ち出さない。⑤叱ることは常に一貫していなければならない⑥叱ったあとで効果をみなければならない。

○ー叱る方としても、何のためにするのか、親は時折り落着いた気分で考えてみること。しかも、叱る回数を減らしていくように。あたたかい心で叱り時には激励もしよう。欠点よりもよい点をみつけ、ほめることに努力し、何を叱り、何をほめるかを考えよう。

○ー要は子どもの発達にとって大切なことは、親がどんな態度で育てたかということよりも『子どもが、それをどう受けとめているか』ということであり健康な心を育てる親のあり方としては、子どもに対して誠意と常識をもつこと。子どもの立場にたつこと。感情をうまく統制し、巧みに愛情を表現しよう。一貫性のある生活態度としつけをしよう。友だちを与え、社会的経験を豊かにさせる。その他自信と自尊心を育てることなど大切なことであろう。

町史編さん室だより⑧



阿知須浦と廻船㈡

天保末年、阿知須浦には六十隻の廻船があった。このうち二百石積以上の廻船は十二隻で、どちらかといえば小型の廻船が多数をしめていた。ところが文久三年には二百石積以上の廻船が二十三隻、このうち七百石積の船を最高に、四百石積以上の廻船七隻と大型廻船の増加をみた。

廻船業の繁栄、船主が大型船に目を向け廻船の売買を行ったことが、右のような状況となってあらわれたと思われる。

次に文久三年の二百石積以上の廻船数と、廻船の売買の一端をしめす史料をあげておく。

700石積	…	1	隻
500 〃	…	2	〃
480 〃	…	2	〃
400 〃	…	2	〃
360 〃	…	2	〃
350 〃	…	1	〃
300 〃	…	1	〃
280 〃	…	4	〃
250 〃	…	1	〃
240 〃	…	1	〃
220 〃	…	2	〃
200 〃	…	4	〃
計		23	隻

阿知須浦廻船増減届

弥太郎	70石積	8反帆	2人乗	亥（文久3）正月買得
万五郎	100石積	10反帆	〃	〃
太三郎	90石積	8反帆	〃	〃
清四郎	100石積	11反帆	〃	〃
左　市	100石積	10反帆	〃	
安二郎	120石積	11反帆	〃	
十右衛門	280石積	14反帆	5人乗	亥2月買得
十右衛門	120石積	12反帆	3人乗	戌（文久2年）10月売払
多三郎	150石積	12反帆	4人乗	戌（〃）12月 〃

生産者ー消費者結ぶ

農協の野菜市場、毎週好評

農協倉庫に朝早くから野菜を運ぶ荷車が続く。消費者も殺到。九月から毎週木曜日に農協が呼びかけで始まった野菜市場は回を増すごとに商品、買いもの客ともふえ「まずは大成功」と関係者は喜んでいます。

いままでの農家だと、市場に出すには量が少ないし、自家消費するには多すぎるといった具合で畑で腐らせる人も多かったのですが、この野菜市場は、わずかな量でも出せるとあって喜こばれています。

この直売方法は、農家が系統市場に出せば、思ったより安く、しかも、消費者の手に渡るまでにはいろんな媒体があり結局、消費者は高値になった品物を買わざるを得なくなります。

いいかえれば、仲買業者が得る利潤分ほど、生産者、消費者に還元（分配）する方法で、生産者は系統市場に出荷するより値が高く、消費者は店頭で買うより安く、無駄な経費を省くことです。

（写真は買い物客が多い野菜市場）

まだ土の香りのする新鮮な大根、ホウレン草、キャベツ、ニンジン、レンコン、サツマイモ、ピーマン、ゴボウなどの野菜類や柿、菊など季節に出るものなど、一品としては多くありませんが、いろいろな種類が農協倉庫に運びこまれます。

九時頃から買い物カゴを持った主婦らが集まり、開店まで百五十人ぐらいがつめかけ、午前九時半にシャッターが開かれ店開き、倉庫一面にあった品物がアッという間に、大部分が売れ、会計の農協職員が汗だくになって応対していました。好評のほどがうかがえます。

農家から三日に一度開設してはとの話しもあるそうですが、農協では、地元商店を圧迫してもいけないので、今後も週一回木曜日の開設は変えないそうです。

なお、十一月は米の出荷で水曜日に変更されます。

大きく生まれヤセ型に育つ

本町の三歳児検診

生まれて間もない子が三年後にはどんな育ち方をしているのでしょうか。

町では毎年三歳児の検診を行っており、ことしの検診結果を集計しました。

それによると、検診を受けた幼児（四十八年生まれ）は百二十七人、九七・七%の受診率です。

これを厚生省の基準によって大中小に分類すると、▽体重＝中が五十人、大が四十三人、小が三十四人とやや大が目だつ。▽身長＝中が四十七人、大四十四人、小三十六人と大中小ほぼ等分のようであるが大は女子に多い。▽胸囲＝中五十二人、小四十五人、大三十人で小が目だつ、小は男子に多く大は女子に多い。

また、体重と身長のバランスを示すカープ指数は男子七六・八%女子七二・四%が平均にあるが、二二・八%もやせ型があるのは食事のアンバランスではないかと保健婦は心配しています。

本町の場合、生まれた時は大きいが、成長するに従って全般的に全国平均より劣ってくるといわれています。

今年の三歳児もやせ型が目だちますが、これからさき、身心ともにすぐれた子を育てるようつとめたいものです。

「不起訴」が不満ならどうぞ

検察審査会　世の声・民の声を反映

日ごろ、交通事故、詐欺、脅しなど、犯罪の被害にあい、困って各方面に話してみたが納得のいく結論がでない。

あるいは、選挙違反や汚職など社会の耳目をひいた重大な事件を検察官が起訴しなかったのは納得できない。こんな不満を持っている方のために検察審査会という制度があります。

たとえば、ある事件について、当然起訴されるべきものが、検察官によって「不起訴」にされた場合、犯罪の被害者は納得できないし、一般国民の正義感情も満足されないでしょう。このようなとき被害者からの申立等に基づき、検察官の不起訴処分のよしあしを、もう一度審査するのが、この検察審査会です。

もともと、この制度は検察官の仕事のやり方について一般市民の健全な常識に基づく意見、いわば民意を反映させる趣旨で設けられたものです。したがって、十一人の審査員が相談し、市民としての良識に従って判断するところにこそ意味があり、審査員が法律等の専門的な知識を持つ必要もありません。

もし、審査に当って、法律のほか医学や工学などに関するある程度の専門的な問題が生ずる場合は学者、弁護士、医者等の専門家の助言を求めることができることにもなっています。

検察審査会は選挙人名簿を基に広く国民の中からくじで選ばれた十一人の審査員によって構成されています。いわば民間人を代表して、検察官の不起訴処分が正しく行われているかどうかを審査することを主な仕事とするところです。

このように検察審査会は、世の声、民の声を検察に反映する大切な国の機関です。このほか検察事務の取扱いについて不審の点や不満のある方は、山口検察審査会事務局（山口市駅通り一丁目六番一号・電話二一—一三三〇）へご相談ください。申立費用、その他一切いりません。

秋の夜長のお供に（新刊図書の紹介）

町公民館図書室（庁舎展望室）は次の新刊を購入しました。

多数のご利用を願っています。なお図書整理のため毎月第四月曜日が休館日です。

▽限りなく透明に近いブルー（村上龍）▽がらんどう（吉行淳之介）▽プロフェッショナルの条件（城山三郎）▽消えた大陸（レザーノフ）▽ガラスの城（松本清張）▽五十万年の死角（伴野朗）▽なぜベストをつくさないのか（ジミーカーター）▽走れ走れ（宇佐美彰朗）▽秋の朝光のなかで（辻邦生）▽親と子の将棋教室（大山康晴）▽グリーンの野望（開脇恒）▽翔ぶが如く（司馬遼太郎）▽愛と同じくらい孤独（Fサガン）▽氷河期がくる（根本順吉）▽日本語の作文技術（本多勝一）▽ジャヌー北壁（小西政継）▽大村益次郎（木本至）▽いい手紙うまい手紙（植田満文）▽結婚式の司会（小室実）▽次郎長三国志（村上元三）▽天声人語（深代淳郎）▽砂の城（遠藤周作）▽消えた大陸（レザーノフ）▽重役候補（山田智彦）

役場の窓

◆・十月二十五日、あじのす大学体育祭が中学校グランドで行われました。

来賓であいさつされた三好正之先生（共立病院々長）が「体力の向上ではなく、和と心の向上が老人には大切」と話され、大会が開始。各老人クラブ出場で、安全運転ボール送りなど七種目、約二百人が参加、「百姓よりおもしろいのお」という声もあり、笑いあり、声援あり、もたつきありで、老顔に笑顔のあふれる一日でした。

◆・セイタカアワダチソウの退治については町職員が人海戦術に出ましたし、町民各位のご協力もあってことしは非常に少なかったようです。特に鴨生原地区は区あげて刈取り作業の奉仕をしていただきました。ありがとうございました。

◆・町内オープンバレーボール大会が十月三十一日に行なわれ、男女十五チーム参加、時折り北風が吹くなかで、かけ声よろしくラリーの応酬。接戦の結果、男子は昨年の優勝チームラクタムを二—〇で破って初出場ながら、早くからメンバーをそろえて練習を積んだ東条チームが優勝。女子は、過去三回の試合とも決勝戦に出た、飛沖と町役場両チームが四回目の決勝争い。接戦の結果、町役場チームにがい歌があがりました。

飛沖、町役場の四年前からの対戦成績は二勝二敗の引き分け。

町職員異動

十一月一日付（カッコ内は旧）

税務課賦課徴収係（住民課住民係）　網田　幸子

住民課住民係（税務課賦課徴収係）　伊藤美代子

慶弔録

出生（おすこやかに）

父	続柄	子の名	月日	部落
水本昭治	長女	英里	9・20	北祝
中尾晴海	長男	信明	9・21	前山
山本哲也	長男	健作	10・1	井関
藤村節雄	二男	智明	10・2	旦東
藤井哲之	長男	和之	9・28	日円松
松永信推	二男	裕之	10・3	寺河内
中原正義	長女	知美	10・3	築地
林慎一郎	二男	俊夫	10・7	南祝
中谷敏明	長女	牧恵	10・17	浜表
亀村和美	二女	史子	10・13	浜
松重包美	長男	直浩	10・10	浜
西田捷男	長女	知子	10・23	沖の原

婚姻（おしあわせに）

藤田　博	引野
ちづ（古田）	東
磯部辰夫	仙在
安江（石田）	広島市榎町
古田康夫	岩前
香津子（古谷）	厚狭郡山陽町
中谷義雄	東
喜代子（堀尾）	宇部市西岐波
副島裕正	佐賀県嬉野町
真智子（砂村）	飛石
林　雄二	宇部市東岐波
桂子（冨田）	東
早瀬國雄	飛石
満恵（上平）	宇部市
黒田浩行	岩西
えり子（古谷）	大島郡東和町
竹原陽滝（上川）	鹿児島県川内市
文江	日円松
三木信雄	鳥取県米子市
洋子（上重）	岩上
田辺　治	岩西
紀子（後藤）	厚狭郡山陽町
小林国彦	日北
雅子（井町）	萩市
冨富基雄	井関
えり子（有川）	大島郡東和町
崇村照義	宇部市西岐波
勢津子（福嶋）	井関
重永幹夫	宇部市西岐波
千恵美（藤村）	築地
叶　義之	熊毛郡田布施町
洋子（中）	恵比須
國弘多喜男	築地
千鶴子（楢崎）	熊本県南関町

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	月日	年令	部落
松村シヅカ	10・3	60	築地
中原　秀雄	10・7	18	南祝
中山　俊英	10・7	23	前山
田中キクノ	10・11	83	引野
福岡　愛二	10・21	69	浜表
村田サトエ	10・25	77	糀南
中谷　倉一	10・30	67	小西

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

砂三　藤永ミツノ
運動会の音裏山にこだまして手にとる様に聞こえ来るなり

小西　平海アサノ
嫁ぐ時吾が持ち来し鏡台の老いたる今もかげりなく映せり

小西　徳本喜一
信玄袋を肩にかつぎて郷を出で白髪でかえり歌をたのしむ

小東　松尾君代
夏終わりて山のプールの水にごり小さき虫はふちに泳げり

浜　正司ウメノ
智慧深きその瞳を閉じし吾が友の顔を撫でつつ別れを惜しむ

北祝　原田双恵
水茎のあと美しくおだやかに語りたまいし君逝きたもう

飛石　藤重幾代
花か草か吾に問いつつ丁寧に選りて庭草抜きてくださる

砂三　桜井文子
思ふこと慎む世ぞと説きつつもねだられるままに買いて与へる

砂三　渡辺宮子
味噌麹の温もり遅きひと鎚雨の夜中を布団掛け居り

砂一　松代二郎
運動会一年の孫が宣誓をマイクに向きてたどたどと言う

岩西　中本満枝
腹痛の体をふとんに寄りかかり窓より児等の運動会を見る

飛石　砂村ヤス子
風の中紫ゆるる桐の花雨にうたれて色濃くなりぬ

小西　藤重アヤ子
白菊や黄菊に埋もれし柩の孫白き顔に微笑の有り

浜　石田サダ子
遅き月はプレス機を淡く照らしるて明日納めむ浴衣かぞえぬ

河内　磯中忠一
蝉の声今は少なし並木路の時季の移るを早や感じたり